

令和6年度一般選抜国際地域学部後期日程・小論文
(出題の意図)

(出題の意図) 一般選抜後期日程国際地域学部・小論文

問1

与えられた表の数字と記述内容を読み取り、それらが示している事態を様々な角度から理解・考察できる力と、複数の図表から読み取れる事態を複合的・構成的に理解できる力とを測ることを狙っている。

設問1

話者人口及びその L1 言語・L2 言語による内訳の観点から、世界の主要な言語と言語ごとの特徴を把握し、その理解を文章で適切に表すことができる力を測ることを狙っている。

設問2

世界の主要な国々が指定する公用語や国語を含め、国別の言語状況を理解すると共に、インターネット空間の主要言語構成について、国別のインターネット使用人口割合と併せて、複合的に状況を理解できる力を測ることを狙っている。

設問3

国連公用語と UNESCO による少数言語の保全活動など、国連に関係する言語の取組み状況、さらに設問1、2で得た理解を踏まえ、今後の世界の言語状況を推測できる論理的な思考力を測ることを狙っている。

問2

人文社会学系の論述文を読み解き、考察し、表現力を測ることが狙いである。

設問1

筆者が考える「貧困の防波堤」としての保育所の機能を強化しようとする理由を出題文から読み解くものである。読解力そして読みとった内容を要約し、記述する力を測る問題である。

設問2

筆者が考える子どもに関する対策と「少子化対策」の違いを、出題文から読み解くものである。読解力そして読み取った内容を要約し、記述する力を測る問題である。

設問3

「普遍的制度」と「選別的制度」について出題文からその内容を読み解くとともに、自らの考えを踏まえて表現するものである。読解力と自身の考えを表現する力を測る問題である。

設問4

「子どもの貧困」問題に取り組むうえで、大学生でも可能な取組みについて問うものである。特に、発想力、表現力を測る問題である。